



新たな取り組みにチャレンジしています

フードバレーとかち



川井 延 浩

音更町
(有)かわい造園

有限会社かわい造園代表取締役
「記憶に残る空間づくり」をコンセプトに造園業に取り組む一方、帯広市内の「ホテルみのや」アネックスのデザイン感覚あふれる改装を手がけるなど多方面で活躍を見せる。

羊を活用した環境整備を目指します！

■羊を活用し、地球にも人にも優しい草地管理を目指します！

動物と触れ合うと、人には癒し効果があるという事が実証されています。現在機械が主流の草地管理ですが、羊を取り入れることでより自然体な環境を作りあげ、食育にも繋げていきます。

■広大な地で羊の放牧をする事で、新たな風景、十勝の価値を作ります！

十勝に来てまず目に付くのが畑です。そういった畑や、昨今増えてきているメガソーラー施設の下草管理を羊で行い、新しい価値ある十勝の風景を生み出し、十勝を訪れた人の目に焼きつくような風景を作ります。

いまの課題は？

■羊を活用して環境整備をするには、まず羊飼いにならなくてははいけません。感染症などにもかかりやすい羊の健康を考え、良質な土・牧草を研究します。

■羊を飼う事を出てくるメリットデメリットを、まだ把握しきれていません。自社で実際に羊を飼う事で体感し、比較し、改善しながら一番良い方法を見つけます。

このような風景が十勝に出来れば、新たな観光地、また雇用の受け口にもなり、十勝の発展に繋がると考えています。



チャレンジ実現に向けた研究内容は？

ニュージーランドのウェルスフォードとウェルデンの家族経営を行っている小規模牧場で、羊の飼育方法を学ぶことができました。また、ゴルフ場や学校など、羊を使った草地管理の実例を調査研究しました。

飼育方法に関しては、土地の特性や気候の関係で地域ごとに考え方や方法が異なっていました。しかしながら、牧羊犬や毛刈り、予防接種は、どこでも変わらず行われ、日本の飼育方法と変わらない印象を受けました。

果樹園での草地管理は、草や小枝だけでなく、果実まで食べてしまうことがあるようで、羊を活用した管理は向いていないと思いました。



ゴルフ場や学校では、草地管理の他に人件費削減や資金捻出のため、羊が活用されていました。高校生ぐらいになると羊の毛刈り等が授業で行われ、学生たちはその技術をアルバイトで活かすなど、羊牧場が生活の近くにある事を感じました。



訪問した羊牧場では、皆自分の信念を貫き、最良の羊を作りながら日々を送る事が私たちの「ライフスタイル」だと胸を張っていて、それが羊を飼う事なのだろうと感じました。



フードバレーとかち推進協議会の支援（十勝人チャレンジ支援事業）を活用して、以下のテーマで調査研究を行いました。

【テーマ】 羊を活用した環境整備

十勝人チャレンジ支援事業とは？

新たな取り組みにチャレンジする人を支える事業。単なる視察旅行ではなく、自身の経営課題を再認識し、その課題解決のために何が必要か調査研究を行い、実践していくものです。